

佳作

へそのお

荒川区立尾久宮前小学校 二年

わたなべ しゃーな

やなぎ田先生、はじめまして。わたしには、もうすぐ弟が生まれます。おなかの中の赤ちゃんとお母さんをつないでいるへそのおのことがかいてある「へそのお」という本を読みました。

やなぎ田先生は、自分のへそのおが、今どこにあるかしていますか。わたしがこの話を読んで一ばんおもしろかったところは、男の子が「おとうさんも、へそのおある？」と聞いてみたら、「ああ、あったんだけど、おとうさんのは、ねずみがたべちゃったっておばあちゃんが言ってたな。」と答えたところです。もうすぐうまれる、弟のへそ

のおは、かっている犬のシェリーにたべられないように気をつけます。

はじめてしまったこともありました。へそのおがあるどうぶつと、ないどうぶつがいることです。その中でも、わたしは、うまにも、へそのおがあるということが一ばんびっくりしました。

「がい国の人もへそのおをとっておくのかしら」と本にかいてあったので、スリランカ人のお父さんに聞いてみると、

「とつてあるよ。」

と言っていました。こんど、スリランカに行ったときに、お父さんのへそのおを見てみたいです。

わたしのへそのおは、おばあちゃんのいえにあります。こんど行ったときに、お母さんのへそのおといっしょに見てみたいです。

この本を読んで、生まれてくる弟のへそのおを、さわって見たり、へそのおのことをもっとよくしつたりしたいなと思いました。そして、弟が生まれることが、もっと楽しみになりました。弟が生まれたら、かわいがりたいなと思っています。